

(論文)

新型コロナウイルスが日本の都市鉄道に及ぼした影響 (再論)

The impact of COVID-19 on the Japanese urban railways (re-arguing)

平田 一彦

Kazuhiko Hirata

要旨

新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックからほぼ3年が経過した。日本の鉄道事業が、コロナ禍によって、バブル崩壊やリーマンショック、二度の大震災をはるかに超える影響を被ったことは、研究紀要第27号で報告の通りであるが、その後、オミクロン株による数次の感染、行動規制緩和等を経る中で、その変容がどのようなか見通しがつかない項目も出始めている。本稿では、各社の2021年度決算、2022年度第二四半期決算、月次開示データを主体に、そのほかの諸データを併せ、鉄道事業の将来を考察することとしたい。

キーワード： 新型コロナウイルス、鉄道輸送人員、行動変容、運賃改定、都市構造の変化